中澤秀平　市議会報告　日本共産党

中澤秀平　3月市議会のもようをお知らせします

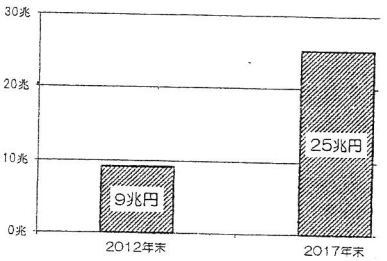
3月市議会は2月27日から3月19日まで開かれました。中澤秀平議員は一般質問で①住宅確保要配慮者の住まいの確保について、②市民の交通手段の確保について行ないました。また、平成30年度一般会計予算案に反対討論を行ないました。その要旨を掲載します。

一般質問

住宅確保要配慮者の住まいの確保について

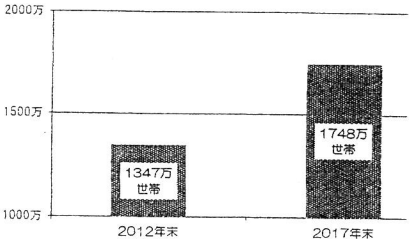
アベノミックスで格差が広がっています。上場企業の大株主上位300人の株式時価総額は2017年末で5年前と比べて2、7倍の25兆円となっています。

大株主上が保有する株式の時価総額



一方で、金融資産を持たない世帯は1748万世帯と400万世帯増加しました。国民生活基礎調査の貧困率は前回調査と比べて改善しているとはいえ、依然としてOECD平均よりも高い状態です。

金融資産を持たない世帯



貧困世帯の多くは住まいの確保に困難を抱える住宅確保要配慮者と呼ばれ、不安定な住居環境を強いられています。今年初めの北海道の火災ではそうした人たちが犠牲となりました。藤岡市でも保証人や初期資金が用意できないために住まい確保に苦労するという実態があります。

本来、市営住宅はこうした人たちの住まいとなるものですが、様々な要件のためにセーフティネットとして十分に機能していません。現状と課題を質し、入居条件の緩和を求めました。

県内12市必要な連帯保証人数

	人数
群馬県	1
前橋市	1
高崎市	2
桐生市	1
伊勢崎市	1
太田市	1
沼田市	1
館林市	1
渋川市	1
藤岡市	2
富岡市	1
安中市	1
みどり市	2

市民の交通手段の確保について

高齢者による重大事故が相次いでいますが、同時に免許証の返納数も増加しています。

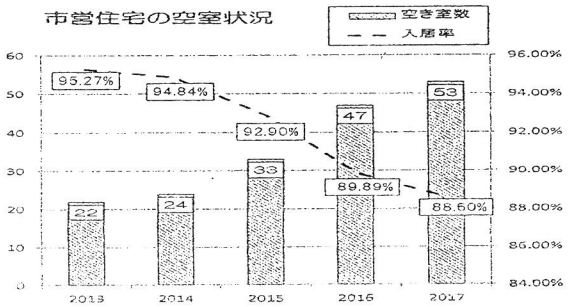
運転免許証返納数の推移

	群馬県全体	藤岡市
2013年	1724	38
2014年	2450	42
2015年	3281	78
2016年	4436	111
2017年	5867	182
5年前と比べて	3.40倍	4.79倍

群馬県総合交通センター運転免許課資料により中澤作成

免許証の返納数が増えることで事故はへらすことができそうですが、しかし、返納した本人の移動手段をどう確保するかは大きな問題となっています。特に、藤岡市は公共交通機関が不十分であり、免許返納の際の支援も有りません。

市営住宅の空室状況



（裏面に続きます）

藤岡市は現在のところ、公共交通政策は消極的です。しかし、人が生活を営む上で移動は欠かせません。自家用車を持たなくとも移動手段が確保できる街づくりが求められます。

運転免許返納者へのサポート

	経歴証明書交付手数料助成	交通機関の定期券・回数券	買い物などでの優待
前橋市	○	○	
高崎市		○	○
桐生市		○	○
伊勢崎市			
太田市			
沼田市			
館林市		○	
渋川市		○	
藤岡市			
富岡市	○		
安中市	○	○	
みどり市			

予算特別委員会

市内経済にも格差が
大きな企業数が増加する一方、小さい企業が減少

藤岡市の平成30年度予算案は、地域経済の弱さを示すものとなっています。

たとえば、法人税は増収となっていますが、市内の景気全体が好調とは言えません。

企業の規模によって税額の異なる「均等割」は、大規模な企業数が増加している一方、小さい企業は数を減らしています。市内経済にも格差が広がっています。中小企業にも仕事が回る仕組みが必要です。

多世代ファミリー同居支援事業は、市内の業者を活用して住環境を整える事業です。各地で地域経済活性化に効果を挙げている住宅リフォーム制度と似ていますが、中身は要件が厳しく市民には使いづらいものです。平成30年度で事業終了となりますが、より使いやすい制度へ改め、経済活性化策のひとつとするべきです。

防災公園整備事業について
緊急避難先は震度7

防災公園は昨年、突如として提案され事業化されました。3年間の総費用7億円のほとんどは国の補助金ですが、市からの持ち出しも5000万円以上あります。一般的に防災公園は市街地において、大規模災害の際の緊急避難場所として活用されるものです。しかし今回の提案は藤岡地区と鬼石地区との中間点に整備されるもので、緊急避難先として相応しいとはいえません。また整備予定地は、藤岡市地域防災計画が想定する地震災害の際に震度7の大きな揺れが予想されている地域であり、安全面に不安があります。藤岡市は各避難場所や避難地域の防災体制を充実させるべきです。

教職員の多忙化解消について
ふさわしい教職員の配置計画と予算こそ

全国的な傾向と同じく、藤岡市内の先生方も長時間勤務が常態化しています。教育委員会ではこうした状況の改善策を幾つか用意しているようですが、そのなかでも勤務時間を正確に把握することは基本であり、最も重要です。来年度からは県教育委員会より提供されたソフトで出退勤を管理することになっています。正確で徹底した管理体制となるか、今後も注視していく必要があります。

請願紹介議員

年金者組合多野藤岡支部から提出された2つの請願

安倍政権が一昨年、年金カット法を強行したため、年金は毎年のよう引き下げられることになりました。現在でも年金者の40%は月10万円以下の年金です。

いま、現役労働者の37%が非正規雇用で働いており、これらの人たちは厚生年金にも加入できず、保険料が高すぎて国民年金にも加入できず将来は無年金に陥る危険性があります。

「請願」は高齢期を安心して生活できる年金制度を求め①最低保障年金制度の創設を②現在、隔月支給を毎月支給に、などです。

中澤秀平議員は紹介議員として答弁に奮闘しましたが、請願は本会議で2名の賛成で不採択となりました。

藤岡市諸岡235−8 TEL 22−8619
●日本共産党の政策と見解をお知らせします